

しあわ じっかん  
幸せ実感

きぼう ある 未来を創り続けるまち

こうふ 甲府

やさしい  
にほんごばん  
日本語版

こうふしそうごうけいかく  
だいななじ 第七次 甲府市総合計画  
2026<sup>ねんど</sup>年度 - 2035<sup>ねんど</sup>年度

Kofu City

The 7th Kofu City Comprehensive Plan

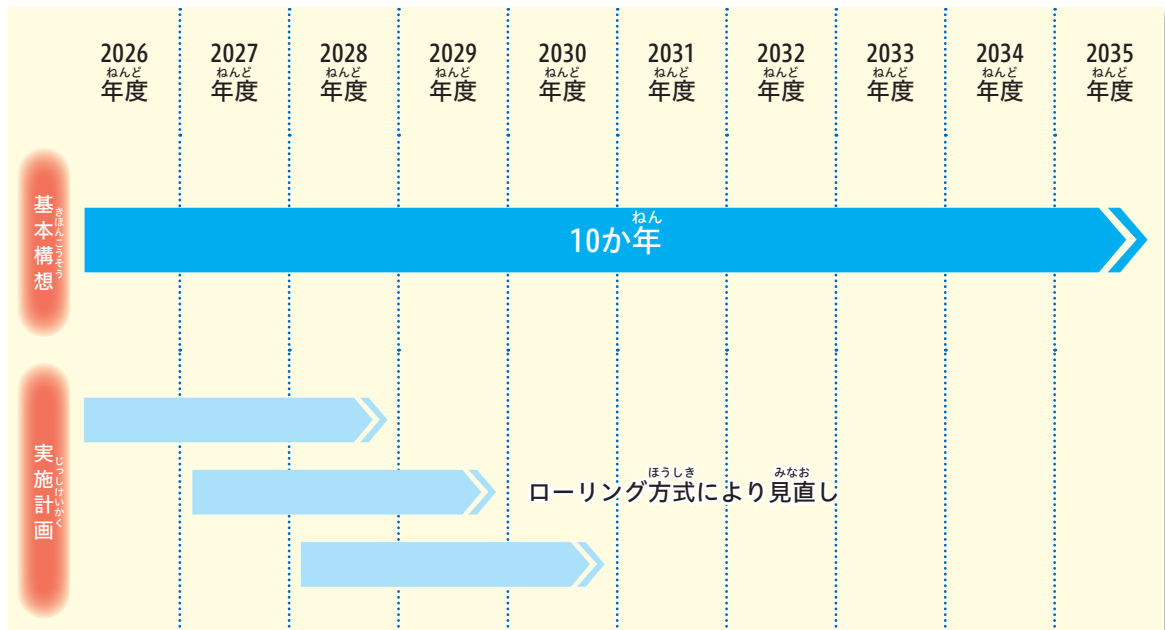
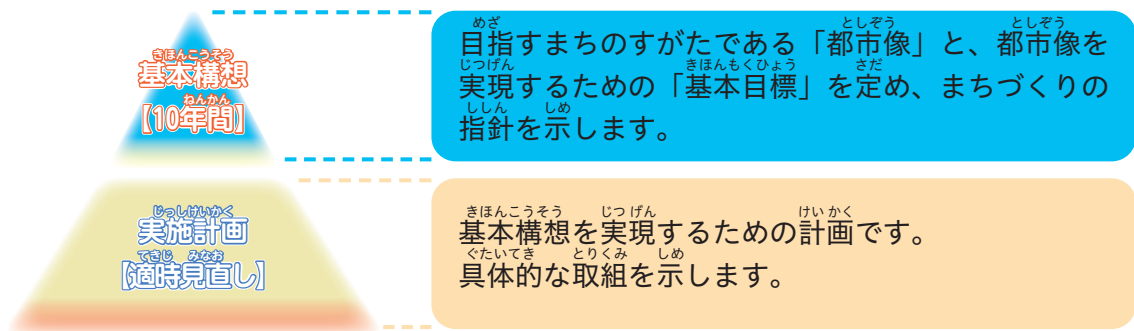
# 甲府市総合計画とは



- 甲府市自治基本条例（甲府市のまちづくりを進めるための基本ルール）に基づいて作った甲府市のガイドラインとなる計画です。
- 甲府市の他の計画は、この総合計画の内容に合わせて作られています。
- 甲府市の運営をしっかりと進めるため、1970年に最初の「甲府市総合計画」を作り、今回は第七次となります。

# 総合計画の仕組み

- 第七次甲府市総合計画は、「基本構想」と「実施計画」でできています。



## いま しゃかい じょうきょう 今の社会の状況は？



しゃかい じょうきょう か つづ  
社会の状況は変わり続けています。

- 甲府市に住む人の数が減り、年をとった人の割合が増えていて、甲府市の産業や活力などへの影響が心配されています。そのため、誰もが“住みやすい”“住み続けたい”と思えるまちをつくっていく必要があります。
- 新しい感染症や、大きな災害への備え、地球の環境を守ることも、対応しなければなりません。

### いっぽう その一方で……

- デジタル化を進め、仕事の仕方や質などを、良くしていく必要があります。
- 考え方やライフスタイルが大切にされ、その人にあったさまざまな働き方や暮らし方、文化的ちがいを認め合うことが重要となっています。
- リニア中央新幹線の開通で東京、名古屋といった大きなまちへの移動にかかる時間が短くなり、人の交流やビジネスが活発になることが期待されています。



ていきょう とうかい  
提供：JR 東海

## これからまちづくりの進め方

- これまでの取組に加え、社会の状況の変化に対応してまちづくりを進めるため、「第七次甲府市総合計画」をつきました。
- この計画では、目指すまちのすがたである「都市像」と、そのすがたを実現するための目標である「基本目標」を示し、市民や事業者、関係団体と共有しながら、計画的に取組を進めます。



としぞう きほんもくひょう つぎ  
「都市像」と「基本目標」は次のページ……

# としぞう <sup>めざ</sup> 都市像 (目指すまちのすがた)

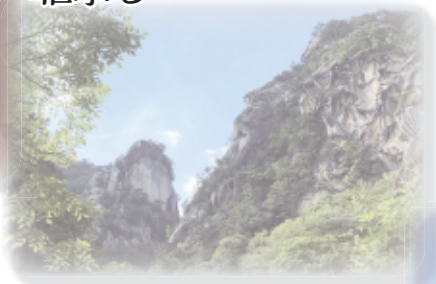
## しあわ <sup>じっかん</sup> <sup>きぼう</sup> <sup>みらい</sup> <sup>つく</sup> <sup>つづ</sup> <sup>こうふ</sup> 幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府

こうふし <sup>じぞくてき</sup> <sup>はってん</sup> <sup>す</sup> <sup>ちいき</sup> <sup>ゆた</sup> <sup>ざいさん</sup>  
甲府市が持続的に発展し、住みやすいまちをつくっていくためには、地域ならではの豊かな財産  
<sup>みらい</sup> <sup>ひ</sup> <sup>つ</sup> <sup>さら</sup> <sup>たか</sup> <sup>あたら</sup> <sup>みりよく</sup> <sup>う</sup> <sup>だ</sup> <sup>ひつよう</sup>  
を未来へ引き継いでいくとともに、それらを更に高め、新しい魅力を生み出していく必要があります。  
<sup>おお</sup> <sup>ひと</sup> <sup>だんたい</sup> <sup>たす</sup> <sup>あ</sup> <sup>せいちよう</sup> <sup>みりよく</sup> <sup>ちいき</sup> <sup>しゃかい</sup>  
また、多くの人や団体がつながり、助け合いながら成長できる、魅力ある地域社会をつくるこ  
<sup>たいせつ</sup>  
とが大切です。

こうしたことを踏まえ、みんなが幸せを感じ、夢を持って生き生きと暮らせる未来をつくり続け、  
<sup>ひと</sup> <sup>えら</sup> <sup>めざ</sup>  
たくさんの人に選ばれるまちを目指します。



<sup>ちいき</sup> <sup>とくゆう</sup> <sup>ゆた</sup> <sup>ざいさん</sup> <sup>みらい</sup> <sup>けいしょう</sup>  
地域特有の豊かな財産を未来へ継承し—



<sup>ひと</sup>  
たくさんの人がつながり  
<sup>きょうりよく</sup> <sup>あたら</sup> <sup>みりよく</sup> <sup>う</sup> <sup>だ</sup>  
協力して新しい魅力を生み出し—

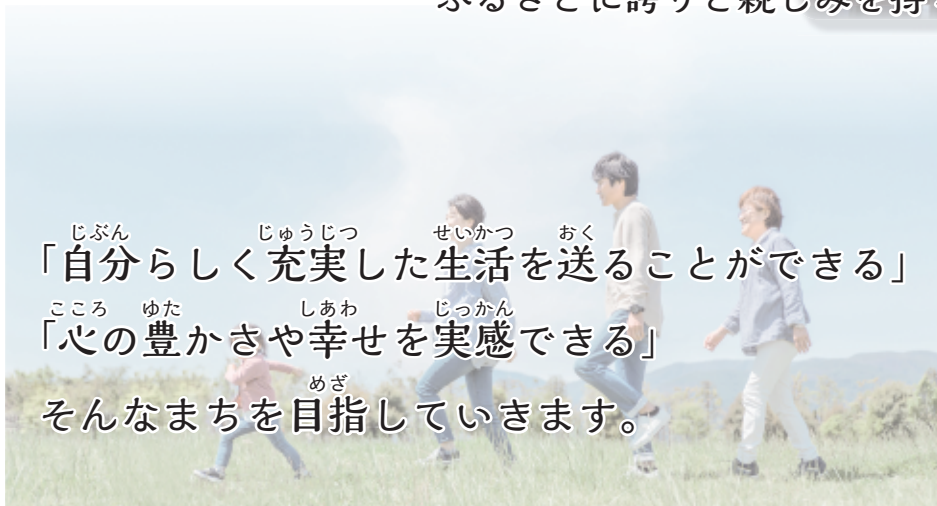


<sup>ほこ</sup> <sup>した</sup> <sup>も</sup>  
ふるさとに誇りと親しみをもち—

<sup>じぶん</sup> <sup>じゅうじつ</sup> <sup>せいかつ</sup> <sup>おく</sup>  
「自分らしく充実した生活を送ることができる」

<sup>こころ</sup> <sup>ゆた</sup> <sup>しあわ</sup> <sup>じっかん</sup>  
「心の豊かさや幸せを実感できる」

<sup>めざ</sup>  
そんなまちを目指していきます。



# 都市像を実現するための3つの基本目標

基本  
目標1

未来に輝く『ひと』を育む



基本  
目標2

安全・安心で快適な『まち』を創る



基本  
目標3

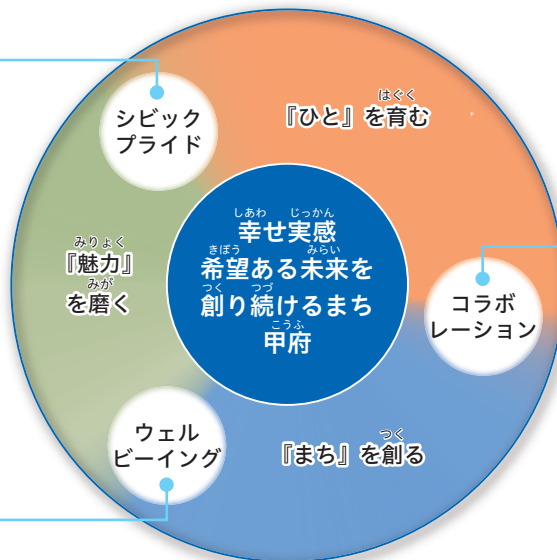
都市機能と自然が調和する  
甲府の『魅力』を磨く



まちづくりを自ら考え行動する『ひと』を育み、その『ひと』がつながり、快適で幸せを感じられる『まち』を創り、そこに新たな『魅力』を生み出します。こうして、甲府への誇りと愛着をだんだんと創り出していき、また『ひと』が集まり、成長していく。

こうした『ひと』『まち』『魅力』がつながるまちを甲府に関わる全ての人とともに創り、だれもが未来に夢や希望を持ち、幸せを感じられる甲府市を目指します。

※シビックプライド…  
甲府への愛着



※コラボレーション…  
人の連携・協働  
(人と人のつながり)

※ウェルビーイング…  
幸せを感じられる環境



## こうふし しみん けんしょう 甲府市市民憲章

うつく しぜん ふる れきし めぐ さか こうふし きんだい  
美しい自然と古い歴史に恵まれて栄えてきた甲府市は、いまや、あらたな近代  
とし 都市として、大きく発展しようとしています。

わたくしたちは、この甲府の市民であることに誇りと責任を感じ、市民憲章の  
ちから あ こうふし つと  
もとに力を合わせ、よりよい甲府市をつくることに努めます。

- 1 まじめに働き、栄えるまちをつくります。
- 1 きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 1 たがいに助け合い、楽しいまちをつくります。
- 1 からだをきたえ、明るいまちをつくります。
- 1 きょうよう たか ぶんか  
教養を高め、文化のまちをつくります。

### こうふし うた さくし さいきょく こうふし うた しんさ いじんかい 甲府市の歌 (作詞：輿石保之 作曲：甲府市の歌審査委員会)

1 さわやかに 山なみあけて  
ひにはえる 甲府盆地よ  
あさ あさ 富士をあおげば  
むね 胸はもえ 力みなぎる  
こうふし 甲府市は 希望よぶ町 希望よぶまち

2 たけだびし 武田菱 かがやく歴史  
しのびつつ はげむあけくれ  
まち まち ひかり 町町に 光あふれて  
さ 咲きかおる 文化ゆたかに  
こうふし 甲府市は 夢をよぶ町 夢をよぶまち

3 にじ 虹わたる ぶどうの丘に  
ほのぼのと かすむ湯けむり  
まど まど に えがおあかるく  
もりあがる 県都われらの  
こうふし 甲府市は あすをよぶ町 あすをよぶまち



こうふ PR 大使  
たけだ 武田ハルくん

### だいななじ こうふし そうごうけいかく にほんごばん 第七次甲府市総合計画 やさしい日本語版

へんしゅう ほんこう  
編集・発行

こうふし きかくぶ きかく そうしつそうごう けいかくか  
甲府市企画部企画総室総合計画課

〒400-8585 甲府市丸の内一丁目18番1号

でんわ 055-237-1161 (だいひょう)

ホームページ <https://www.city.kofu.yamanashi.jp>